

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月26日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-----------------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 鹿島市役所 | 代表者名 | 松尾 勝利 |
| 担当者部署 | 総務部DX推進室 | 連絡先電話番号 | 0954-63-2114 |
| 担当者役職 | 事務職員 | 担当者氏名 | 一ノ瀬 慶太 |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 川口 弘行 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 今回の研修の目的である「全庁的な意識醸成・認識共有」に対して、全職員向けに共感を生む実務的な内容の研修を用意いただいていることが確認でき、職員の意識づけにつながるのではないかと感じた。今回の事前打ち合わせでは、今後、当市がDXを進める上での方向性の確認もでき、厳しいご意見もいただくなど、担当課としての非常に貴重なアドバイスをいただくことができた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|---------------|--------------|--------------|------------|----------|
| | 令和4年8月22日 | 事前打合せ(オンライン) | 有 | 令和4年8月16日 | 205K |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和4年9月26日 | 事前打合せ（オンライン） | 13時00分 | 14時45分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 105 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | | | 最寄駅 | |
| | 所在地 | | | 最寄駅からの交通手段 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

| | |
|------|------------------------------|
| 掲載許可 | <input type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | DX推進室 職員 | 1人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | ・全庁的な職員の意識醸成、認識共有ができていない ・これからの大まかなDXを推進する方針は、検討しているがそれについての専門的な意見を聞くことができていない | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | ・全庁的な職員の意識醸成、認識共有が図れていないので、10/25~26の職員研修について、打ち合わせを行い、より効果的な研修にしたい（職員の共感を生む内容、実務的な視点） ・これからの当市のDX推進にあたっての方針についてのアドバイスを受け、今後事務局としての進め方の参考にしたい | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | ・全庁的な意識醸成のために、なぜ鹿島市がデジタル変革に取り組みなければいけないのか、全職員の認識共有が大切。研修の最初に市長からその部分を伝えてもらい、川口氏より講義いただく。その後、ディスカッション、アンケート調査まで行うこととなった。 ・デジタル化はあくまで手段であり、どうトランスフォームしていくか、していこうとするのが大切。RPAも良いが、過度に期待せず、その導入過程の弊害の洗い出し、分析の過程を重視すること | |

| | | |
|---|---|-------------------------|
| | 物。ITへの投資が、過度に期待せず、その導入過程の業務の洗い出し・分析の適性と進捗が大切。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な職員研修になるような研修内容の認識合わせができた。 ・今後の基本的なDX推進の方向性が間違っていないことやその上で注意すべきことの確認できた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 特になし | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 今後、さらに職員の意識醸成・認識共有を図り、DX推進本部・WGを中心に、課題の洗い出し・分析・各種事業化の検討を行い、事業の実施及び来年度までにビジョンの策定を行う。 | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

3-2.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



